

【草花の部屋】

ヒメヒオウギアヤメ(アヤメ科フリージア属 *Freesia laxa*)

和名：ヒメヒオウギアヤメ (姫檜扇菖蒲) **別名**：アノマティカ・ラクサ

英名：Scarlet freesia

キジカクシ目 多年草

原産地：南アフリカ

花言葉：素直さ、達成

花の色：青、白、桃



← 写真-1 ヒメヒオウギアヤメ
撮影日：2004年05月13日
撮影場所：M邸
(大和郡山市内)にて
撮影者：Mさん

6枚の花びら(花被片)のうち下側の3枚のつけ根の部分に濃い紅色の斑が入るのが特徴です。ヒメヒオウギアヤメは、半耐寒性の秋植え球根で、夏は休眠します。日本へは大正期に入り、観賞用に栽培されてきましたそうです。開花期は4月～5月。

土の凍結、霜や寒風に当たるなどすると枯れてしまいます。関東では室内に取り込む必要がありますが、関西ならば軒下で越冬可能だそうです。

黒い艶のある種ができるので、これを採って蒔くとよく生えるそうです。暖地では、こぼれダネで自然にふえるほど丈夫です。